

FINISH 公式パンチ×グラウンドコントロールルール

【ルール】

- ・パンチ × グラウンドコントロールルールはMMAの試合を想定したボクシングとレスリングを融合したルールです。
- ・両者スタンド状態から試合開始。
- ・勝敗は各試合形式に則り、パンチによるKO、コントロールでの一本、もしくはその合計回数により決定するルールとなり、レベルや体格に合わせてクラス・カテゴリーが別れます。

【カテゴリー】

- ・ビギナー : 初心者相当(格闘技歴1年程度)
- ・アドバンス : 格闘技経験2年未満。打撃系競技の段やライセンスを所持していない、組技競技の有段者ではない。
- ・エキスパート : 打撃、組技、総合問わず、2年以上の格闘技経験者。パンチ、レスリングの攻防が出来る。
- ・マスター : 打撃、組技、総合問わず、プロ大会出場経験者。または出場を想定したトレーニングを行っている。

※各道場・ジム代表者の承認がある場合は、主催者と話し合った上で対象外カテゴリーにも出場可能。

【試合場】

- ・正四角形のリング、各種金網(ケージ)、柔道場、レスリングマット、ジョイントマット等、組技の攻防を行うのに十分な弾力・柔軟性を確保しているもの。

【参加資格】

- ・満16歳以上の健康で感染症のない男女。
- ・20歳未満の方は、保護者の同意が必要です。
- ・参加者にはスポーツ保険の加入を義務付けます。各個人の加入に関してはあくまで参加者本人の責任とします。

【試合時間】

- ・ビギナー : 2分×1R
- ・アドバンス : 3分×1R
- ・エキスパート : 4分×1R
- ・マスター : 5分×1R

【階級】

男性	
ストロー級	-52.2kg(-115lbs)
フライ級	-56.7kg(-125lbs)
バンタム級	-61.2kg(-135lbs)
フェザー級	-65.8kg(-145lbs)
ライト級	-70.3kg(-155lbs)
ウェルター級	-77.1kg(-170lbs)
ミドル級	-83.9kg(-185lbs)
ライトヘビー級	-93.0kg(-205lbs)
ヘビー級	+93.1kg(+205lbs)

女性	
ミニマム級	-43.1kg(-95lbs)
アトム級	-47.7kg(-105lbs)
ストロー級	-52.2kg(-115lbs)
フライ級	-56.7kg(-125lbs)
バンタム級	-61.2kg(-135lbs)
フェザー級	-65.8kg(-145lbs)
ライト級	+65.9kg(+145lbs)

- ・主催者の決めた時間に計量を行わなければならない。
- ・規定の時間内にパス出来なければ失格とする。
- ・全裸での計量は認められない。必ずアンダーショーツを着用する事。

【勝敗の決定】

- ・パンチによるKO(ノックダウン)、レフェリーストップ、またはドクターストップ。(カテゴリーによってダウン回数規定有り)
- ・コントロールによる一本。(カテゴリーによってコントロール回数規定有り)
- ・ダウン、またはコントロールの合計回数による合わせ一本。
- ・反則行為による失格。
- ・選手の申告、セコンドのタオル投入による棄権。
- ・**時間内に勝負が決まらない場合はドローとする。**

【一本・KO】

- ・パンチによるKO(ノックダウン)、レフェリーストップ、またはドクターストップ。(ダウンの回数はカテゴリーによって異なる。)
※ ダウンカウントはないが、ダメージの程度に限らず、膝、手、尻もちを付く等の行為は全てダウン回数として数えます。
- ・コントロールした状態で各カテゴリーで規定された秒数をキープされた場合。(コントロールの回数はカテゴリーによって異なる。)
- ・ダウンをとられた、またはコントロールされた選手が「ギブアップ」や「参った」と口頭にて降参の意思表示をした場合。
- ・相手の身体やマットを手や足で連続して2回以上叩く(タップアウト)行為により降参の意思表示をした場合。
※ パンチやコントロール等で攻められた選手が叫び声をあげた場合もタップアウトと判断する。
- ・セコンドが試合場内にタオルを投入する等、棄権を申し出た場合。
- ・打撃・投げ技・コントロール等によるダメージにより試合続行が不可能(失神・負傷・戦意喪失等)であるとレフリーが判断した場合。
- ・反則行為による失格。

【コントロール】

(抑え込んでコントロールしている状態)

- ・足を絡められずに相手の背中をマットに着けてキープしている状態。または足を掴まれずにグラウンドでコントロール出来ている状態。
※ サイド・マウントポジション、ニーオンザベリー等がコントロールに該当し、足が絡まれなければポジションチェンジも認められる。
例)サイドポジション ⇒ ニーオンザベリー ⇒ マウントetc
- ※ レスリングの「ガブリ」はコントロールとみなし、足を掴まれたり絡まれなければポジションチェンジも認められる。
例)ガブリ ⇒ バックキープetc

(バックからコントロールしている状態)

- ・グラウンド・スタンドポジションは問わず、対戦者の背後から両足を内太もみに絡めてコントロールした状態。
※ 四の字クラッチは有効とするが、片足だけのクラッチ(シングルバック)の状態は認められない。
- ※ サイドポジション等からバックポジション、またはその逆の場合も、タイムカウントはそのまま継続するものとする。
- ※ バックキープはグラウンド・スタンドポジションは問わない為、グラウンドから立った場合もブレイクにはならずカウントは継続する。
- ※ スタンド状態で、バックを奪っている選手を頭から落とす行為、または、背中から落として体重を浴びせる行為は反則とする。
- ※ スタンド状態でのバックキープはグラウンドではなくスタンドの為、エキスパートより上のカテゴリーの場合に限り両者共打撃有りとする。

【パスガード】

- ・パスガードの攻防は10秒を目安とし、パスが出来ない場合はブレイクし、スタンドからの再開とする。
- ・展開が膠着せず、スクランブル状態が続いている場合はブレイクはせず、そのまま継続とする。

【カテゴリー別のダウン回数とコントロール秒数】

	ビギナー	アドバンス	エキスパート	マスター
①:ダウン回数	2回	2回	2回	3回
②:コントロール秒数と回数	20秒×2回	20秒×2回	20秒×2回	20秒×3回
③:①+②の合計回数	2回	2回	2回	3回

※ ビギナークラスのストップはかなり早めに行います。ダウンをしなくても、レフェリーが危険と判断した時点でスタンディングダウンでストップします。

【使用グローブ&防具】

	ビギナー	アドバンス	エキスパート	マスター
ミニマム級～バンタム級	14oz	12oz	10oz	OFG(Sサイズ)
フェザー級～ウェルター級	16oz	14oz	12oz	OFG(Mサイズ)
ミドル級～ヘビー級	16oz	16oz	14oz	OFG(Lサイズ)

- ・全カテゴリー、全階級、ヘッドガードの着用をしなければならない。
- ・グローブ、ヘッドガードともに、主催者が用意したものを使用しなければならない。
- ・OFG(オープンフィンガーグローブ)に関しては、手の大きさによってはサイズの変更を可能とする。
- ・バンデージの使用はOK。ただし、使用する場合は必ず試合前にレフェリーチェックで許可を得る事。

【反則(ペナルティ)】

- ・ 2回目までは口頭注意
- ・ 3回目：失格

重度の反則

- ・ 攻防中、技を仕掛けられた選手が場外に出る行為は2回目までは口頭注意とする。
- ・ レフリーが故意による反則、または重度の反則と判断した場合、口頭注意無しで即失格とする。
- ・ 打撃の攻防を避け、自ら場外へと逃避する行為は試合の放棄とみなし、相手のKO勝ちとする。

【全カテゴリーの共通の反則技】

- ・ 頭部・肘・前腕による攻撃。
- ・ 後頭部・頸椎・下腹部に対する攻撃。
- ・ 膝・蹴り等、脚による攻撃。
- ・ あらゆるポジションにおいてのサブミッション。
- ・ あらゆる指関節への攻撃(一度に3本以下の指を掴む)。
- ・ 頭からマットに落とす投げ技(スパイクング・バスター)。
- ・ スタンドにおいて体重を浴びせて関節技を伴うような投げ技。
- ・ 噛み付き、歯を押し付ける。
- ・ 眼・鼻孔・耳孔・口に指を入れる。
- ・ 性器または目への攻撃または圧迫。
- ・ 頭髪、用具、装具を掴む。
- ・ のど輪絞め。
- ・ 場外逃避。
- ・ 相手を故意にリング外、場外へ投げる・押し出す。
- ・ 攻防中にロープを掴んだり、ロープに手足を引っかける。(金網の場合、掴まなければ手や足をかけるのはOK)
- ・ 審判の指示に従わず試合の進行を妨げる。
- ・ 相手を挑発、唾を吐く、暴言等道徳的マナーに反する行為。(セコンド、観客含む)

【カテゴリー別の有効技と反則技】

	ビギナー	アドバンス	エキスパート	マスター
組んだ状態での打撃	○	○	○	○
大外刈り	×	○	○	○
鉄槌	×	×	○	○
バックハンドブロー(回転技)	×	×	○	○
スタンドバック状態での打撃	×	×	○	○
膝や手、臀部を床へついた相手への打撃	×	×	○	○
ジャーマンスープレックス、反り投げ	×	×	×	○
背中をついた相手への打撃(パウンド)	×	×	×	×

※ バックハンドブロー時、前腕や肘が当たった場合は反則とし、対戦相手が試合継続不可能となった場合は反則負けとします。

※ タックル等ではがみ付いている相手へのグラウンド状態(3点・4点ポジション)での打撃は可とし、殴られても動きがない場合はレフェリーストップの対象となります。(エキスパート以上)

【用具・装具】

- ・ 上半身は袖に隙間の出来ないラッシュガード及びシャツ等。
- ・ 下半身はポケットや金具、プラスチック部のないファイトシューズ等。紐が外部へ剥き出しになっていないもの。
- ・ マウスピースは必ず着用する事。無い場合は用具不備にて失格とし、試合を認めない。
- ・ ファウルカップ・ニーパッド等は、競技に支障が無ければ使用可。
- ・ クリーム、オイル、ジェル、または滑りやすい物質の塗布は認めない(整髪剤も認めない)。
- ・ レスリングシューズなどのシューズの着用は認めない。
- ・ 指輪やネックレス、ピアス等の貴金属類の着用は認めない。

【セコンド】

- ・ 最大2名まで。カテゴリーに関わらず、必ず1名は用意する事。